

支援団体部門：NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会
(鹿児島市)

1 法人概要

平成13年設立。

「地理・歴史・自然をまなび、まちづくりを考える」をキーワードに、調査研究及び学習・啓発の場を継続的に提供している。

また、そのことによって、鹿児島で育まれた文化を通じて地域が豊かになることを活動の主たる目的とする。

これまで見過ごされてきた地域資源の価値や魅力の再発見、県内各地のまちあるきメニューの構築やまちあるきガイドの育成に取り組むほか、かごしまグリーン・ツーリズム協議会事務局としてグリーン・ツーリズムの研修会実施や広報活動にも尽力している。



代表理事・東川隆太郎氏

2 これまでの貢献の概要

(1) 地域資源を活かしたまちあるきの実施

鹿児島市だけでなく、大隅半島、ときには県外も対象に地域の歴史や自然を紹介するまちあるきを実施しているほか、旅行会社からの依頼で、ツアーの企画及びガイドを行うこともある。

まちあるきの対象として、これまでの定番の観光地以外の地区を取り上げることにより、新たな地域の魅力の発掘に繋がっている。



まちあるきの実施

(2) 地域の魅力の情報発信

地域の魅力を発信するパンフレットの作成・編集を多く手がけているほか、テレビなど様々な媒体を通じた地域の魅力発信にも取り組んでいる。

また、「世間遺産」(地域の人々が発見し、地域の宝物として位置づける遺産)という考え方を提唱し、平成18年から平成25年にかけては、独自の視点で選定した「世間遺産」を地元新聞紙に連載。そのほかにも、地域の歴史や地理を紹介する連載や寄稿が数多くある。



地域の魅力パンフレット

(3) むらづくりの支援

ア 農村集落と連携したむらづくり活動

集落と協力し、観光マップ作成やツアー開催、これまでのネットワークを活かした幅広い情報発信に取り組んでいる。

このような取組により、地域の知名度アップや、住民だけでなく学校、地元企業、周辺地域まで一体となったむらづくり活動の体制確立に繋がっている。



地域資源の発掘

イ むらづくりに関する講演活動

これまでの活動の成果から、地域が取り組むむらづくりに向けた提言や事例紹介等に関する講演の依頼が数多くあり、最近では、県内だけでなく県外での講演も増加している。



集落マップの作成

(4) グリーン・ツーリズムの推進に関する支援

県域のグリーン・ツーリズム（以下「G T」という。）推進組織「かごしまグリーン・ツーリズム協議会」の事務局として県内のG Tを推進するため、以下のような取組を行っている。

ア 市町村組織の活動支援

市町村のG T推進組織が実施する講習会やイベント等の情報を会員間で共有するためのメーリングリストの運営や、新規G T推進組織の立ち上げ支援を行っている。



かごしまG Tフォーラムの開催

イ 本県のG Tに関する広報

体験メニューや農家民宿を紹介するパンフレットの作成やHPの運営、また、G T実践者やG Tに興味のある方を対象としたフォーラム等の開催による広報に取り組んでいる。



農家民宿開業研修会の実施

ウ G Tに関する講師

市町村G T推進組織が実施する研修会に講師を派遣するほか、東川代表理事は、G Tの担い手やリーダーを育成する「九州ツーリズム大学」の講師も務めている。